

名古屋東山「新池」

写真上は、名古屋都市センターの11階「まちづくり広場」の床に貼られている特大の地図だ。名古屋を上から眺めることができ、「まちづくり広場」に行ったときは腰を落として、じっと地図を見つめる。

これは東山のあたりを愛用 iPad で撮ったものだ。写真の真中から右に広がるのが東山動植物園、左上は平和公園。平和公園は戦後、都心から墓地をぼちぼちではなく、いっきよに集団移転して造成された墓地公園である。幻の名古屋五輪の会場予定地であった。「白いまち」といわれる名古屋だが、貴重なグリーンゾーンだ。今回テーマにとりあげた「新池」は、写真の真中からすこし左に位置する。

写真中は先日、新池を北側から撮ったものだ。「東山タワー」が湖面にくっきりと映っている。この新池あたりは、30数年前から馴染みのスポットである。

というのも、名古屋に就職が決まり、池下の不動産屋さんで偶然に見つけたのが、この新池前にあった「新池ビル」という5階建てアパートであった。古いアパートだったが、新池と東山動植物園の緑が見渡せるのが気に入った。論文が書けないとき、考えごとをするときなど、新池の周りをよく歩いたものだ。私にとって、新池は狭い自宅の貴重な「庭先」のようであった。

星ヶ丘に移ってから、本山や東山公園に歩くとき、新池に近寄ることが多い。「元気かい?」といった感じで、湖面をじっと眺めながら、渡り鳥などを探す。写真下は、今年1月2日に新池で撮影の「オナガカモ」。

はっきりと撮れているが、じつは撮影したのは私ではない。望遠レンズを使って、行きつけの理髪店のご主人が撮ったものである。ご主人との「床屋談義」のなかで、新池のことが話題になり、店の奥にひっそりと飾られている写真を iPad で撮らせてもらった。ご主人はプロ級の腕前である。こんなカモを撮ってみたいかも。とにかく、新池はなかなか奥がふかい。



(2017年2月5日)